

# 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

## 1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 開戸センター
	所在地	あきる野市湧上332番地1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係
指定管理者	名称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外(植木等のせん定を含む。)、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページURL		<a href="http://www.akirudai-hp.or.jp/houjin/center.html">http://www.akirudai-hp.or.jp/houjin/center.html</a>
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日

## 2 施設の利用状況等について

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開館等日数(日)	267	268	251	185	226
延べ利用者数 必須事業(人)	3,020	3,249	2,985	2,245	2,820
前年度比(人)	△98	229	△264	△740	575
前年度比(%)	96.9%	107.6%	91.9%	75.2%	125.6%
延べ利用者数 自主事業(人)	3,101	3,588	3,188	1,829	2,898
前年度比(人)	393	487	△400	△1,359	1,069
前年度比(%)	114.5%	115.7%	88.9%	57.4%	158.4%
利用料金 必須事業(千円)	2,622	2,802	2,537	1,908	2,397
前年度比(千円)	△104	180	△265	△629	489
前年度比(%)	96.2%	106.9%	90.5%	75.2%	125.6%
利用料金 合計 自主事業(千円)	1,781	2,104	1,917	1,080	1,660
前年度比(千円)	184	323	△187	△837	580
前年度比(%)	111.5%	118.1%	91.1%	56.3%	153.7%

## 3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
収入	指定管理料	13,397	13,420	13,567	13,420	13,420
	利用料金収入	2,622	2,802	2,537	1,908	2,397
	自主事業収入	1,781	2,104	1,917	1,080	1,660
	その他の収入	0	0	0	644	0
	収入計	17,800	18,325	18,021	17,052	17,477
支出	人件費	10,692	11,759	11,820	11,028	11,236
	維持管理経費	4,609	4,648	4,721	4,156	4,904
	自主事業関係経費	1,336	620	450	667	713
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	16,636	17,028	16,991	15,850	16,852
収支(収入-支出)	1,164	1,298	1,030	1,202	625	

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

#### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
開戸センターではアンケート箱の設置に加え、定期的に4月と10月にアンケートの実施をしています。また、必要に応じて個別面談を行い、活動内容や要望等、利用者の意見を取り入れ安心して利用していただけるセンターを目指しています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
コロナ禍という事もあり、体力低下や肥満で悩む声が多数聞かれたので運動、体操系の「経絡ヨガ」の講座を立ち上げました。好評をいただいています。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
自主事業の祝日の講座開催も周知されてきており喜ばれています。また、必須事業利用者にとって外出機会の増加の手助けになっています。「介護支援スタンプ」の導入も行っていて、ボランティア活動が安心して行えると喜ばれています。

#### 5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
活動内容はリサイクル品の取り入れやセンターの在庫を確認し無駄をなくしています。また光熱費の削減や在庫管理の徹底も引き続き行っています。

#### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
必須事業については、介護申請のための退所もみられましたが、コロナ禍だからこそ外出機会を増やす手段として新規申し込みの見学や問合せが多数ありました。結果登録者数の増加につながりました。また、コロナ生活にも慣れてきましたが十分な感染対策を行い、安心してセンターを利用していただける環境作りをしました。 自主事業については、利用者の声を大切に新規講座の立ち上げや予定表の配布、他の講座の紹介等、会話を大切にしています。そうした取組により、今年度は、複数の講座に参加する利用者が目立っています。 引き続き、利用者のニーズを把握し、新たな事業を展開するなど、利用者増加に努めていきます。

#### 7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
利用者の個別面談や日頃の会話から、コロナ禍における体力低下や肥満という利用者の悩みに応じ、経絡ヨガ講座の開設を行うなど、利用者のニーズを把握し事業展開が行えていることは評価できます。また、自主事業の祝日開催による利用者の外出機会の増加に寄与するなど、高齢者の通いの場として機能しています。引き続き、利用者のニーズに応えられよう、市民サービスの向上に努めて下さい。
経費削減の取組
在庫管理により事務用品や消耗品など必要な数を精査していること、また、リサイクル品を受入れることにより購入費用の節減を図っていることなど、経費の削減が図れています。エアコンの温度設定を適切に保つとともに、こまめに電気を消すなど、経費の節減に努め、引き続き、センター運営に支障が出ないよう心がけ経費削減に取り組んでください。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
新型コロナウイルス感染症の影響がある中、感染症対策を施しながら事業を実施し、前年度比で利用者数の増加を果たせたことは評価できます。コロナ禍における体力低下や肥満という利用者の悩みを把握し、新規の講座を展開するなど、利用者増加のための創意工夫が見られます。コロナ禍による利用者離れを最小限に抑えるため、引き続き、既存利用者の継続、新規利用者の獲得を目指し、ニーズに応えた講座の提供、さらに広く周知を図るとともに、安全かつ快適で利用しやすい施設の管理運営に努めてください。

総合評価	A
------	---

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。